

## 歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和8年5月8日

独立行政法人水資源機構  
木津川ダム総合管理所  
所長 竹内 宏隆

### 1. 目的

この歩掛参考見積の募集は、木津川ダム総合管理所で予定している業務の積算の参考とするために行うものです。

### 2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における令和8・9年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 水資源機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成6年5月31日付け6経契第443号）に基づき、淀川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

### 3. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

- (1) 参考見積書は、作業項目毎に必要な作業員（技術者）の人数を記載して提出して下さい。  
なお、参考見積書の様式は問いません。別添「歩掛参考見積様式」を参考に作成してください。
- (2) 提出期間：令和8年5月8日（金）から令和8年5月20日（水）まで  
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで
- (3) 提出先  
独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所長 竹内 宏隆 宛  
【担当】木津川ダム総合管理所 経理課 坂尾（さかお）  
〒518-0413 三重県名張市下比奈知2811-2  
TEL 0595-64-8961 FAX 0595-64-8964
- (4) 提出方法  
書面は持参、郵送又はファクシミリ（社印があること）により提出するものとします。

### 4. 参考見積内容

- (1) 業務項目、作業内容  
別紙「見積仕様書」のとおりとします。
- (2) 見積項目  
見積項目は、別添「歩掛参考見積様式例」のとおりとします。

(3) 見積期限

見積有効期限は令和9年3月末までとします。

5. 募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

- (1) 提出期間：令和8年5月8日(金) から令和8年5月13日(水) まで  
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、  
午前9時から午後5時まで
- (2) 提出場所：3. (3) に同じ。
- (3) 提出方法：3. (4) に同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

- (1) 閲覧期間：令和8年5月15日(金) から令和8年5月20日(水) まで
- (2) 閲覧方法：ホームページに掲載します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

8. ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

9. その他

この参考見積書をご提出いただいたことで、業務の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、業務積算の目的以外には使用いたしません。

以 上

# 見 積 仕 様 書

件名：室生ダム水質保全ダム等施工計画検討外業務（仮称）

## 第 1 節 業務目的

本業務は、室生ダム貯水池上流に設置している水質保全ダム右岸下流の管理用道路擁壁基礎部の補修について実施設計を行うとともに、過年度に検討されている水質保全ダム復旧及び擁壁基礎部補修の設計成果に基づき、統合した施工計画の検討を行うものである。

また、室生ダム貯水池上流に位置しているこどものもり公園上流擁壁の復旧に向けた形状の検討を行うものである。

## 第 2 節 業務内容

### 2-1 設計計画

業務目的、検討条件及び業務内容を把握したうえで、共通仕様書第 1 章第 12 節に基づき、業務計画書を作成するものとする。

### 2-2 現地踏査

管理用道路の擁壁補修設計及び統合した施工計画を検討するために必要な水質保全ダム周辺の状況（資機材搬入ルート、工事用道路設置場所、施工ヤード等）を把握するとともに、こどものもり公園対岸の護岸の補修設計の検討に必要な護岸の状況等を把握するものとする。

### 2-3 管理用道路擁壁補修実施設計

#### 1. 縦断設計

過年度に実施されている擁壁基礎部の測量結果に基づき、計画河床高を考慮して根入れ長を確保した縦断設計を行うものとする。

また、計画高の作成にあたっては、測量結果のある全ての測点について行うものとする。

#### 2. 横断設計

縦断設計の検討結果に基づき、擁壁基礎部の補修断面（前面勾配、寸法、根入れ深さ等）及び構造を決定するものとする。

また、既存擁壁と補修箇所との接合方法を検討するものとする。

#### 3. 擁壁補修実施設計

擁壁基礎部、擁壁躯体クラックの補修工法について、擁壁基礎部はセメント系可塑性充填材による補修、擁壁躯体クラックは無収縮モルタルによる補修を考えているが、水

質保全ダム復旧工事と併せて擁壁補修工事を行うことを踏まえた上で、その他の補修工法と比較検討（維持管理・施工性・安全性・経済性等）を行い、最適案を選定するものとする。

なお、擁壁基礎部は河川内構造物として検討を行うものとし、擁壁の高さが8 mを超過するため、地震時の安定性について照査するものとする。

#### 2-4 施工計画書の作成（水質保全ダム復旧及び擁壁補修）

過年度に検討されている水質保全ダム復旧及び擁壁基礎部補修の設計成果を用いて、経済的かつ合理的に工事を行うために必要な統合した施工計画を2案（1年施工、2年施工等）作成するものとする。工事の施工時期は、非洪水期（10月16日から翌年の6月15日まで）とし、管理用道路擁壁の天端ヤードでの重機の利用を避けた計画とする。

#### 2-5 設計図の作成（水質保全ダム復旧及び擁壁補修）

次表の設計図を作成するものとする。

なお、一般図及び構造一般図については、既設構造物との位置関係がわかる寸法を記入するものとする。

設計図名称	縮 尺	備 考
平面図	1/500 又は 1/1,000	
縦断図	V=1/100 ・ H=1/500	
標準断面図	1/100	
横断図	1/100	
構造一般図	1/50～1/100	
詳細図	1/〇〇	
その他調査職員が指示する図面		

#### 2-6 数量計算（水質保全ダム復旧及び擁壁補修）

数量計算は、「土木工事数量算出要領(案)：国土交通省」により行うものとし、算出した結果は、「土木工事数量算出要領数量集計表(案)：国土交通省」に基づき、工種別に取りまとめるものとする。

なお、これに記載のないものは、調査職員が指示する方法により取りまとめるものとする。

#### 2-7 概算工事費算出（水質保全ダム復旧及び擁壁補修）

数量計算で算出された数量に基づき、概算工事費を算出するものとする。

#### 2-8 公園上流擁壁の形状検討

過年度に実施されている擁壁周辺の測量結果に基づき、崩落した市道のブロック積擁壁及び河川内擁壁について、復旧に向けた形状の検討を行うものとする。

#### 2-9 照査

2-8を除き、正確性、整合性等の照査を行うものとする。

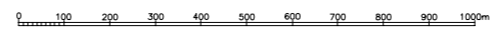
#### 2-10 報告書作成

業務の成果として作成した成果をとりまとめ、報告書を作成するものとする。

また、成果の概要を抽出・整理した業務概要書を作成するものとする。

以 上

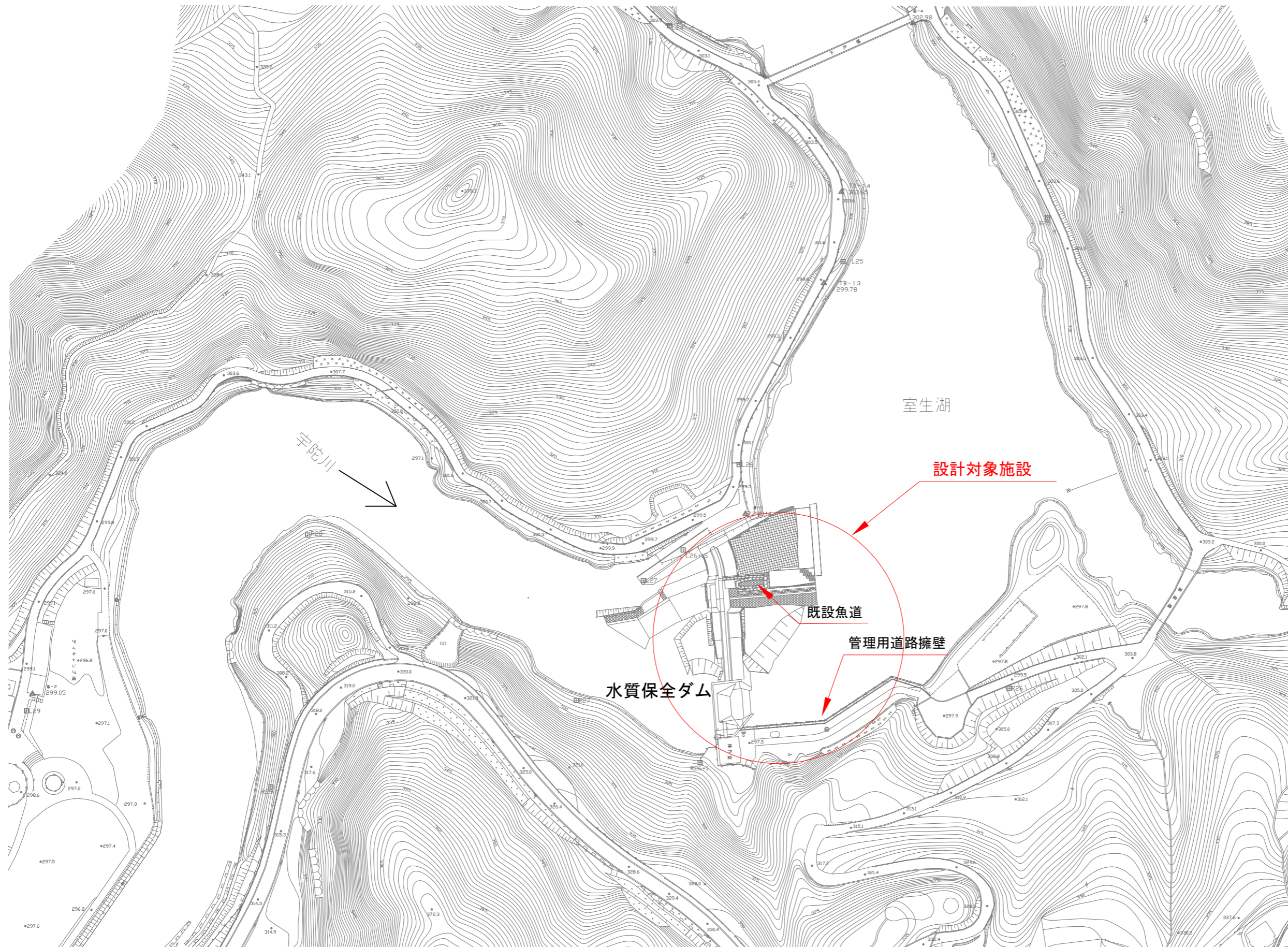
# 室生ダム貯水池平面図 S=1:5000



参考図

業務名	室生ダム水質保全ダム等施工計画検討外業務（仮称）		
名称	室生ダム貯水池平面図 縮尺 1:5000		
登録番号	整理番号	01	
独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所			

# 水質保全ダム位置図 S=1:125、1:250



## 参考図

業務名	室生ダム水質保全ダム等施工計画検討外業務（仮称）		
名称	水質保全ダム位置図 縮尺 1:1000		
登録番号	整理番号	02	
独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所			